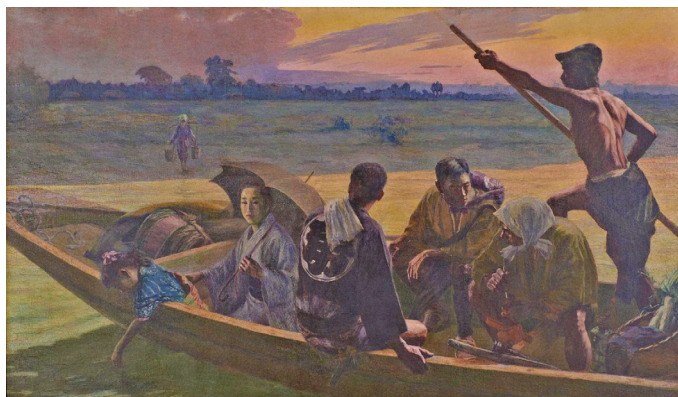


# 各募集案内



小林萬吾《渡舟》1909年 香川県立ミュージアム蔵

公開収録のご案内 企画：明治以降美術の業績調査委員会

## 座談会 小林萬吾と日本近現代洋画の光

窪美 西嘉子・野見山 暁治・(司会) 入江 観  
(香川県立ミュージアム学芸員)

10月30日(水) 場所：美術家連盟画廊  
定員：先着50名程度 参加費：会員/一般 無料 時間：14:00▶16:00(予定)

来年大きな展覧会が企画されている《小林萬吾》と同時代から現代までの洋画家たちに焦点を絞り、その業績を辿ります。展覧会を担当している香川県立ミュージアム学芸員の窪美西嘉子氏をお招きし、当連盟からは、《小林萬吾》の教え子である野見山暁治氏に加わって頂き、入江観氏の司会で《小林萬吾》を中心に、日本美術界に降り注いだ〈油彩の光〉を語ります。ぜひご参加ください。\*下段の【申込方法】よりご応募ください。

〈企画：技法材料研究委員会〉

## 2019年度公開講座《12・2月》募集 定員になり次第締切 応募者殺到の場合は抽選

### 12月9日(月)：実習 蜜蝋画制作会 小林 裕児

定員 8名 参加費：会員 10,000円・一般 15,000円  
場所：美術家連盟画廊 時間：11:00▶17:00(予定)



昨年の同講座制作風景 ホットプレートを用いて

蜜蝋画(エンコスティック)とは、古代エジプトまで遡る大変古い絵画技術です。蜜蝋の60℃という低い融点を生かし、顔料を溶かした溶媒が冷え固まる短時間の中で制作します。古代の制作がどのように行われていたかは不明ですが、20世紀後半以降様々な作家によって試みられています。ここではどこの家庭でもある身近なホットプレートと手芸用の電気鏝を使い作品制作を試みます。

〈小林 裕児〉

### 2月17日(月)：実習 メディウムはがし刷り

～バレン、版画プレス機を使わない版画技法

### 三瓶 光夫・南館 麻美子・横田 智美

定員 20名 参加費：会員 5,500円・一般 9,000円  
場所：美術家連盟画廊 時間：10:00▶17:00(予定)

凹版形式の版を刷るには、版画プレス機に頼らざるをえない現状がありますが、アクリルメディウムを用いて版につめたインクを接着してはがし取る方法により、版画プレス機が無い環境でも凹版画を制作できます。そこで、身近に手に入るクラフトテープを利用した版を考えました(小作青史氏考案)。

このクラフトテープの表面には撥水性加工が施してあることから、この技法に適した素材であり、支持体には厚紙を用いることで、描画はボールペンの先の丸いところを利用し押し込むことで、簡単に凹版が作れます。また、専門的な道具、材料は使いませんので、講習後も自宅を手軽に制作していただけます。



昨年の同講座にてプレートマークを指導する三瓶講師

公開収録  
公開講座

申込方法

応募者殺到の場合は抽選です。

電話(03-3542-2581)・FAX(03-3545-8429)・E-mail(jaa-support@jaa-iaa.or.jp)いずれかの方法により、①名前(フリガナ)②郵便番号・住所③電話番号④会員(会員番号)・非会員の別、⑤どの催し物・講座にお申込みか明記して、事務局までお申込みください(複数応募可)。

定員になり次第締切りますが、応募者殺到の場合は、抽選にて参加者を決定します。

問合せ：☎03-3542-2581(平日10:00~17:00)